



第2号 令和4年 4月15日 発行

エンパワメントスクールとは？

「エンパワメント」とは「力を引き出す」という意味です。「わかる授業」「おもしろい授業」「意見を出し合う授業」「ほんものに触れる授業」を行う新しい学校で、みなさんの持っている力を最大限に引き出し、社会で活躍するための力をつけてくれます。大学や専門学校、企業とも連携して「ほんものに触れる授業」を実施し、進路実現をはかる新しいタイプの学校です。近隣では、長吉高校や布施北高校、西成高校などがあります。



ながよしこうこう 長吉高校では、

- 一人一人の力に応じたわかりやすい教材の活用。
→必要に応じて、義務教育段階の学習をすることもできます。
- 少人数・短時間で集中力を高める授業。
→1年生の国語・数学・英語は、モジュール授業として取り組んでいます。
毎日30分習熟度別に2クラス3展開の少人数編成で学びます。
- タブレット端末や電子黒板などを活用した学習。
→2つのコンピュータ教室だけでなく、90台以上のタブレット端末を活用し、調べ学習や写真を取り入れた作品制作等を行っています。
- 参加体験型の学習。
→週4時間あるエンパワメントタイムでは生徒と教員が共に学びあい、「正解が一つでない問題を考える」授業を行っています。実社会で対話するちからを育みます。1年生の「産業社会と人間」では「大丈夫と感ぜられる場」(セーフ・プレイス)で、コミュニティボールを回しながらみんなで「考える」ことを楽しみます。

教育課程のイメージは、以下の図のようになっています。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年次	30分授業の国語(習熟度別)			30分授業の数学(習熟度別)			30分授業の英語(習熟度別)			理科・社会(学校設定科目)					実技科目(体育・芸術・家庭・情報など)					エンパワメントタイム		10分学習	L H R							
2年次	国語・数学・英語(習熟度別選択)						理科社会(必修修科目)			実技科目			選択科目			エンパワメントタイム														
3年次	国語・数学・英語(進路別選択)			理科・社会(必修修・進路別選択)			実技科目	選択科目					エンパワメントタイム																	

*単位数や履修科目の開講学年は、学校ごとに若干異なります。

モジュール授業とは？

左下の表の1年の国語、数学、英語の授業のことで、毎日30分、基礎学力で重要な科目である国語、数学、英語を基礎から学び、反復・定着を目的とした授業のことで、

今までわからなかったところから始める人、すぐに高校の内容から始める人等、個人のレベルに合わせた授業を実施します。また、授業前には10分間の「朝学習」があり、書き取りや計算プリントなど取り組みやすい教材を使って授業効率を上げます。

多文化共生教育を推進しています

長吉高校は国際理解教育や多文化共生教育を推進し、大阪のモデルとなるような多文化共生の学校づくりをめざしています。平成13年より一般入試とは別で「日本語指導が必要な帰国生徒および外国人生徒選抜」という特別枠入試を行っていることもあり、現在では約70名の外国にルーツを持つ生徒が共に学び学校生活を送っています。生徒たちは、中国・台湾、韓国・朝鮮、フィリピン、タイ、ベトナム、ネパール、インドネシアといったアジアを中心に、ブラジル、ペルー、ボリビア、イタリア、コンゴといった世界中の国にルーツがあります。外国にルーツを持つ生徒たちとクラスの仲間として、また部活動や行事で時間を共に過ごす中で、各国の言葉や文化を知ることができる環境が長吉高校にあります。



系列の内容と主な科目の例

- 「多文化共生」系列
⇒多様な文化を持つ人々との相互理解を深めるための知識を養い、外国の言葉や文化を学ぶことによって、「話せる外国語」を通してコミュニケーション能力を育成します。
 - 「ITとコンピュータ」系列
⇒ワープロ検定や表計算検定やプレゼンテーション検定などのITに関わる資格等を取得することによって、就職に対応するちからを身に付けます。
 - 「芸術と文化」系列
⇒芸術や文化について専門的な知識や技能を学ぶことによって、創造的な表現能力を高め、自分の意見や感情を表現するちからを身に付けます。
 - 「スポーツと保育」系列
⇒スポーツや保育を学ぶことによって、健康な体と精神を創り、主体的な実践力を育成し、人と人との関わりを大切にすることを身に付けます。
- 詳しくは、長吉高校のホームページをご参考ください。